

サステナ経営検定3級第21回試験解答解説

[2025年10月19日実施] サステナ経営検定委員会／株式会社オルタナ

問題1 「サステナ経営の目的と領域」に関する次の記述のうち、最も不適切なものを一つ選べ。

正答：エ

2000年に始まったMDGs(ミレニアム開発目標)の後継が、SDGsである。(10ページ)

公式テキスト：Chapter 1.1 サステナ経営の目的と領域

問題2 「SDGsとサステナ経営」に関する次の記述のうち、最も適切なものを一つ選べ。

正答：エ

ア：アフリカを含む開発途上国の特別なニーズなどを課題として掲げたのはMDGsであり、SDGsの目標はすべての国々に普遍的に適用される取り組みである(12ページ) イ：2050年ではなく2030年である。(12ページ) ウ：「インサイド・アウト」ではなく「アウトサイド・イン」である。(13ページ)

公式テキスト：Chapter 1.2 SDGsとサステナ経営

問題3 「サステナ経営の世界潮流」に関する次の記述のうち、最も不適切なものを一つ選べ。

正答：ア

NGO/NPOや地域社会などのステークホルダーは、密接にかかわってきた。(14ページ)

公式テキスト：Chapter 1.3 サステナ経営の世界潮流

問題4 「大企業と中小企業のCSR」に関する次の記述のうち、最も適切なものを一つ選べ。

正答：エ

ア：社会と企業の特徴によって取り組み内容が異なるので、ほかの企業での取り組みをただ真似ても効果はない。(16ページ) イ：特定のターゲットに合わせた取り組みをしやすいのは、地域や得意先などを絞り込みやすい中小企業の方である。(16ページ) ウ：参加型の地域社会貢献など、モチベーションの向上や効果的なCSRを生みやすい取り組みは、大企業よりも中小企業の方が行いやすい。(17ページ)

公式テキスト：Chapter 1.4 大企業と中小企業のCSR

問題5 「コンプライアンスの本質」に関する次の記述のうち、最も不適切なものを一つ選べ。

正答：エ

ISO26000の定義では、組織の社会的責任は、「狭義のコンプライアンス」(法令順守や雇用・納税など)に限定されていない。「広義のコンプライアンス」(社会規範の順守:企業の倫理や社会の倫理に応えるなど)も対象になる。(11、20、21、24、25、51ページ)

公式テキスト：Chapter 1.1 サステナ経営の目的と領域

Chapter 1.5 コンプライアンスの本質

Chapter 1.7 ISO26000 とは何か

Chapter 2.4 企業に求められる対話力

COLUMN 3 法と CSR

問題 6 「サステナ報告書の役割と現状」に関する次の記述のうち、最も適切なものを一つ選べ。

正答：ウ

ア：報告の基準として標準になっているのは、国際 NGO 「GRI（グローバル・レポートティング・イニシアティブ）」による「GRI スタンダード」である。(22 ページ) イ：宣伝や広告とは異なるので、企業を外部から正しく評価するために、場合によっては企業にとって都合の悪い情報の開示も必要になる。(22 ページ) エ：開示が求められている内容は「トリプルボトムライン」と呼ばれる「環境」「社会」「経済」の活動パフォーマンス情報と、そのパフォーマンスを管理・向上させるための「ガバナンス」情報である。(22 ページ)

公式テキスト：Chapter 1.6 「サステナ報告書の役割と現状」

問題 7 「ISO26000 とは何か」に関する次の文章の空欄に該当する語句として、最も適切な組み合わせを一つ選べ。

正答：エ

公式テキスト：Chapter 1.7 ISO26000 とは何か

問題 8 「国連グローバル・コンパクト (UNGCR)」に関する次の記述のうち、最も適切なものを一つ選べ。

正答：ウ

ア：UNGCR の原則は、人権・労働・環境・腐敗防止の 4 分野で構成されている。(26 ページ) イ：自治体にも認められている。(27 ページ) エ：署名団体に占める企業の割合は約 8 割となっている。(27 ページ)

公式テキスト：Chapter 1.8 国連グローバル・コンパクト

問題 9 次のうち、「社会的責任投資 (SRI)」のはじまりの特徴として、最も適切なものを一つ選べ。

正答：イ

SRI は、ギャンブル・武器・酒・たばこ関連の望ましくないと考える企業を投資対象から除くネガティブ・スクリーニングから始まった。(28 ページ)

公式テキスト：Chapter 1.9 ESG 投資／サステナブル投資

問題 10 1991 年に日本で「企業行動憲章」を制定した機関はどこか。

正答：ア

公式テキスト：Chapter 2.1 企業と社会の関係性

問題 11 ある衣料品メーカーの CSR 部署で、「企業が果たすべき社会的責任」について議論している。

各社員の発言のうち、ISO26000 や EU (欧州連合) の CSR の定義に照らし、最も不適切なものを一つ選べ。

正答：ア

事業活動が、自社の消費者以外のステークホルダーに与える影響を考慮していないため。(37 ページ)

公式テキスト：Chapter 2.2 社会における企業の役割

問題 12 「ステークホルダーとは何か」に関する次の記述のうち、最も適切なものを一つ選べ。

正答：ウ

ア：地域社会も含まれる。(38 ページ) イ：ステークホルダーの定義は、「組織の何らかの決定または活動に利害関係を持つ個人またはグループ」であるため、株主重視ということではない。(38 ページ) エ：政府・行政機関も含まれる。(38 ページ)

公式テキスト：Chapter 2.3 ステークホルダーとは何か

問題 13 「企業に求められる対話力」に関する次の記述のうち、最も不適切なものを一つ選べ。

正答：ア

法令順守にこだわると、社会環境が急変する時代には適応できず、大問題を引き起こす可能性がある。対話を通じて唯一絶対の解決策なき問題に対応することが、コンプライアンスの本質である。(40-41 ページ) 公式テキスト：Chapter 2.4 企業に求められる対話力

問題 14 国際消費者機構が提唱する「消費者の 5 つの責務」に該当するものを一つ選べ。

正答：ア

公式テキスト：Chapter 2.5 消費者重視経営とは何か

問題 15 「トリプルボトムライン」に関する次の文章の空欄に該当する語句として、最も適切なものを一つ選べ。

正答：ア

公式テキスト：Chapter 2.6 トリプルボトムラインとは

問題 16 「社会課題と SDGs」に関する次の空欄に該当する語句として、最も適切な組み合わせを一つ選べ。

正答：エ

公式テキスト : Chapter 2.7 社会課題と SDGs

Chapter 4.4 世界の貧困と児童労働

問題 17 「企業の社会貢献と寄付」に関する次の記述のうち、最も不適切なものを一つ選べ。

正答：ア

NPO の財政基盤は脆弱なところが多く、個人寄付の拡充は財源としても不可欠である。 (52 ページ)

公式テキスト : Chapter 2.8 企業の社会貢献と寄付

問題 18 「ビジネスと人権」に関する次の記述のうち、最も不適切なものを一つ選べ。

正答:エ

日本には独立した「国内人権機関」はない。国連人権理事会の作業部会チームは、同機関を設立して企業の人権尊重責任履行と実効的な救済へのアクセスを促進すべきと強く助言している。 (55 ページ)

公式テキスト : Chapter 2.9 ビジネスと人権

問題 19 日本の「社会とつながる働き方」に関する次の記述のうち、最も適切なものを一つ選べ。

正答：ウ

ア：「働き方改革関連法」は新型コロナウィルス感染症が拡大する前の 2019 年 4 月から順次施行されている。 (58 ページ) イ：「コアタイム制」ではなく「フレックスタイム制」である。 (58 ページ) エ：コロナ禍の影響もあるが、その一方で既存のビジネスモデルが通用しない事業領域が増え、企業は事業の多角化や新規事業の開発が急務となっている。 (58 ページ)

公式テキスト : Chapter 3.1 社会とつながる働き方

問題 20 「NGO／NPO とは」に関する次の文章の空欄に該当する語句として、最も適切な組み合わせを一つ選べ。

正答：ア

公式テキスト : Chapter 3.2 NGO／NPO とは

問題 21 「企業と NPO が協働する意義」に関する次の記述のうち、最も不適切なものを一つ選べ。

正答：イ

企業から NPO に賃金や労力を提供するのは、「チャリティ型」である。 (65 ページ)

公式テキスト : Chapter 3.3 企業と NPO が協働する意義

問題 22 「ダイバーシティなど DEI」に関する次の記述のうち、最も不適切なものを一つ選べ。

正答：ウ

「インクルージョン」ではなく「ダイバーシティ（多様性）」の説明である。なお、インクルージョン

の意味は、多様性を受け入れて認め合うことである。(66 ページ)

公式テキスト : Chapter 3.4 ダイバーシティなど DEI

問題 23 日本の「ワーク・ライフ・バランス (WLB)」に関する次の記述のうち、最も適切なものを一つ選べ。

正答：ウ

ア：努力義務ではなく、義務である。(69 ページ) イ：2021 年度の内閣府の「男女共同参画白書」によると、出産を機に離職する女性は約 3 割に上り、仕事と家庭の両立には課題がある。(68 ページ) エ：「えるぼしマーク」ではなく、「くるみんマーク」である。(68 ページ)

公式テキスト : Chapter 3.5 ワーク・ライフ・バランス

問題 24 「プロボノ」に関する次の記述のうち、最も適切なものを一つ選べ。

正答：イ

ア：各企業の取り組みがいかに本業と結びついているかが問われるようになった。(70 ページ) ウ：プロボノ元年は 2020 年ではなく、2010 年である。(70 ページ) エ：プロボノは、ビジネスで培った経験やスキルを活かして取り組む社会貢献活動のことを指す。(70 ページ)

公式テキスト : COLUMN 5 「プロボノ」とは何か

問題 25 「SDGs と消費行動」に関する次の空欄に該当する語句として、最も適切な組み合わせを一つ選べ。

正答：ア

公式テキスト : Chapter 3.6 SDGs と消費行動

問題 26 「気候変動交渉の動き」に関する次の文章の空欄に該当する語句として、最も適切な組み合わせを一つ選べ。

正答：イ

公式テキスト : Chapter 4.1 気候変動交渉の動き

問題 27 「企業と脱炭素」に関する次の記述のうち、最も適切な組み合わせを一つ選べ。

正答：エ

1 : 2023 年の COP28 では、化石燃料からの脱却を進めることで合意した。(78 ページ) 4 : すべての企業ではなく、プライム市場に上場する企業である。(79 ページ)

公式テキスト : Chapter 4.1 気候変動交渉の動き

Chapter 4.2 企業と脱炭素

問題 28 生物多様性が失われつつある原因として、最も不適切なものを一つ選べ。

正答：エ

有機農業の原点は、環境に配慮し、生物の多様性による生態系のバランスや土づくりを重視した持続可能な農業の実現にある。(88 ページ)

公式テキスト：Chapter 4.3 生物多様性

Chapter 4.7 オーガニック／有機農業

問題 29 「世界の貧困と児童労働」に関する次の記述のうち、最も適切なものを一つ選べ。

正答：エ

ア：SDGs でも「あらゆる形の貧困を終わらせる」と言及している。(82 ページ) イ：「加担」を是正して将来的なリスクを予防するために、人権デューディリジェンスの実施が求められている。(83 ページ)

ウ：日本国内の法令にも違反する。(83 ページ)

公式テキスト Chapter 4.4 世界の貧困と児童労働

問題 30 「エシカルなビジネス」に関する次の記述のうち、最も不適切なものを一つ選べ。

正答：エ

2021 年に一般社団法人エシカル推進協議会（JEI）が「JEI エシカル基準」を公表している。(85 ページ)

公式テキスト：Chapter 4.5 エシカルなビジネス

問題 31 「フェアトレード」に関する次の記述のうち、最も不適切なものを一つ選べ。

正答：ア

「援助ではなく貿易を (Trade not Aid)」が正しい。(86 ページ)

公式テキスト：Chapter 4.6 フェアトレード

問題 32 「オーガニック／有機農業」に関する次の記述のうち、最も不適切なものを一つ選べ。

正答：イ

遺伝子組み換え技術は利用しないことを基本としている。(88 ページ)

公式テキスト：Chapter 4.7 オーガニック／有機農業

問題 33 日本の「自然エネルギーと RE100」に関する次の記述のうち、最も適切なものを一つ選べ。

正答：ウ

ア：RPS 制度は義務量が低く設定されたため、導入が進まなかった。(90 ページ) イ：日本ではなく EU (欧州連合) のデータである。(91 ページ) エ：目標として定められているのは、自然エネルギーの割合の拡大であり、原子力の割合ではない。(90 ページ)

公式テキスト：Chapter 4.8 自然エネルギーと RE100

問題 34 日本の「障がい者雇用」に関する次の記述のうち、最も不適切なものを一つ選べ。

正答：ウ

法定雇用率達成企業の割合は 50.1% である。(92 ページ)

公式テキスト：Chapter 4.9 障がい者雇用」

問題 35 「ソーシャルビジネス」に関する次の記述のうち、最も不適切なものを一つ選べ。

正答：イ

ソーシャルビジネスの担い手は非営利団体や第三セクターなども含まれる。(94 ページ)

公式テキスト：Chapter 4.10 ソーシャルビジネス

問題 36 「サーキュラーエコノミー(循環経済)」に関する次の記述のうち、最も不適切なものを一つ選べ。

正答：エ

自動車製造業以外にも、建設業など 10 業種・69 品目を対象に 3R が求められている。また、個別製品ごとのリサイクル法が次々と成立・施行し、業界や関係各主体を巻き込んだ資源の循環利用が進んでいく。(97 ページ)

公式テキスト：Chapter 4.11 サーキュラーエコノミー

問題 37 「海洋プラスチックごみ問題」に関する次の記述のうち、最も適切な組み合わせを一つ選べ。

正答：ア

2：プラスチックごみは分解して自然にはずれることはない。(98 ページ) 3：マイクロプラスチックはすべて回収するのはほぼ不可能である。(99 ページ)

公式テキスト：Chapter 4.12 海洋プラスチックごみ問題

問題 38 「アニマルウェルフェア」に関する次の空欄に該当する語句として、最も適切な組み合わせを一つ選べ。

正答：イ

公式テキスト Chapter 4.13 アニマルウェルフェア

問題 39 「LGBTQ」に関する次の記述のうち、最も不適切なものを一つ選べ。

正答：イ

同性パートナーを登録することができる地方自治体は 2024 年 6 月の時点で 459 である。（102 ページ）

公式テキスト：Chapter 4.14 LGBTQ

問題 40 「グリーンウォッショ」に関する次の記述のうち、最も不適切なものを一つ選べ。

正答：エ

「グリーンハッシング(Greenhushing)」とは、投資家の監視を逃れるために、企業の経営陣が持続可能性に関する実績を故意に過少報告したり、隠したりする行為。企業が消費者に責任を転嫁する手法は、

「グリーンシフティング(Greenshifting)」である。（104—105 ページ）

公式テキスト Chapter 4.15 グリーンウォッショ

注（訂正）：本問題の出題時、用語の綴りに誤りがありました。「Greenhusing」（グリーンハッシング）と表記しておりましたが、正しくは「Greenhushing」です。受験者の皆様にはお詫び申し上げるとともに、今後は同様の誤記が生じないよう、校正校閲体制を一層徹底いたします。